

# 平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年8月7日

上場会社名 株式会社 フレンドリー  
 コード番号 8209 URL <http://www.friendly-co.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 重里育孝  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 中井豊人  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 大

TEL 072-874-2747

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	3,209	△14.4	△96	—	△94	—	△100	—
21年3月期第1四半期	3,747	—	△82	—	△78	—	△123	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△6.90	—
21年3月期第1四半期	△8.46	—

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
22年3月期第1四半期	10,116	—	6,817	67.4	—	—	466.18	—
21年3月期	10,513	—	6,908	65.7	—	—	472.38	—

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 6,817百万円 21年3月期 6,908百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	7,200	△7.8	190	348.7	190	293.2	140	—	9.57
通期	13,700	△5.3	140	—	140	—	50	—	3.42

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

〔注〕詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

〔注〕詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 14,645,584株 21年3月期 14,645,584株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 21,384株 21年3月期 20,985株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第1四半期 14,624,399株 21年3月期第1四半期 14,626,399株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ「1.経営成績(1)経営成績に関する分析」をご覧ください。

2. 平成22年3月期の期末配当予想は現時点で未定であり、今後の業績等を総合的に勘案し、見通しが立った時点で開示します。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融危機の影響により、企業業績は大きく落ち込み、雇用情勢も更に悪化する等、依然として厳しい状況で推移いたしました。当外食業界におきましても、雇用・所得環境が厳しさを増す中、消費者の生活防衛意識の高まりによる外食支出の抑制と、外食企業間の競争・中食業界との競合・消費者の内食回帰等により、経営環境は極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社におきましては、収益力の回復を最優先に、①各業態の店舗オペレーション見直しによる運営コストの低減、②本部管理業務の効率化による人員の削減、③店舗賃借料・営業雑品・水光熱費を始めとするあらゆる経費削減を目的とするプロジェクト活動、④食材や商品構成の見直しによる原価の改善と適正な粗利益の確保等、無駄の排除とロスのコントロールに徹底して取り組んでまいりました。

店舗展開につきましては、「和み料理と味わいの酒 土筆んぼう」を1店舗出店しましたので、当第1四半期会計期間末の店舗数は前事業年度末比1店舗増加し、125店舗（前年同期比3店舗の減少）となりました。

業態別には、「おいしい・たのしい・ここちいい」をコンセプトとする洋食の「ファミリーレストランフレンドリー」47店舗、一本仕入の本マグロが好評の「産直鮮魚と寿司・炉端 源ぺい」38店舗、「和・洋・中の料理と団欒」をコンセプトとする「団欒れすとらん ボンズ」19店舗、「日本の原風景“里山”」をコンセプトとする居酒屋「和み料理と味わいの酒 土筆んぼう」19店舗、「かぐや姫の里 安芸の小京都“竹原”」をコンセプトとする「しゃぶしゃぶ・鍋 季節の和膳 竹〇屋」1店舗、「健康応援バイキング」のレストラン「ダイニング・ビュッフェ い〜とみ〜と」1店舗となっております。

店舗数の減少と消費者の生活防衛意識の高まりに加え、5月のゴールデンウィークから始まった新型インフル騒動が重なり、当第1四半期の売上高は3,209百万円（前年同期比537百万円の減少）となりました。営業損失は96百万円（前年同期比13百万円の増加）、経常損失は94百万円（前年同期比16百万円の増加）、四半期純損失は100百万円（前年同期比22百万円の減少）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は、10,116百万円で前事業年度末比396百万円の減少となりました。主な要因は、借入金の返済と未払金の支払いによる手許流動性の取崩しによるものです。負債合計は借入金の減少と未払金の減少等により前事業年度末比306百万円減少し、3,299百万円となりました。純資産は四半期純損失等により前事業年度末比90百万円減少し、6,817百万円となりました。この結果、当第1四半期会計期間末の自己資本比率は、前事業年度末比1.7ポイント上昇して67.4%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末比447百万円減少し、2,435百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の収支は、減価償却費75百万円の増加要因に対して、税引前四半期純損失91百万円、未払金の減少127百万円、法人税等の支払い37百万円、等の減少要因により251百万円の減少（前年同期比138百万円の減少）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の収支は、有形固定資産の取得64百万円等の減少要因により57百万円の減少（前年同期比35百万円の増加）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の収支は、長期借入金の返済等により138百万円の減少（前年同期比28百万円の減少）となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年5月15日に公表いたしました業績予想につきましては、現時点におきまして変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,435,255	2,882,443
売掛金	54,048	74,315
商品及び製品	18,355	20,571
原材料及び貯蔵品	94,448	89,612
前払費用	175,262	90,530
その他	27,632	13,216
貸倒引当金	△80	△90
流動資産合計	2,804,923	3,170,601
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,004,276	2,027,160
土地	2,314,619	2,314,619
その他(純額)	361,165	350,957
有形固定資産合計	4,680,062	4,692,737
無形固定資産	46,015	46,546
投資その他の資産		
投資有価証券	132,837	115,623
差入保証金	2,210,673	2,227,765
その他	246,547	329,526
貸倒引当金	△4,230	△69,000
投資その他の資産合計	2,585,828	2,603,915
固定資産合計	7,311,906	7,343,200
資産合計	10,116,830	10,513,801
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	288,687	337,245
1年内返済予定の長期借入金	500,000	510,000
未払金	467,173	581,670
未払法人税等	20,130	59,443
店舗閉鎖損失引当金	5,100	5,100
その他	113,167	73,357
流動負債合計	1,394,259	1,566,817
固定負債		
社債	600,000	600,000
長期借入金	855,000	980,000
繰延税金負債	21,807	14,801
再評価に係る繰延税金負債	210,927	210,927
その他	217,336	232,939
固定負債合計	1,905,071	2,038,667
負債合計	3,299,330	3,605,485

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,975,062	3,975,062
資本剰余金	3,058,146	3,058,146
利益剰余金	682,871	783,769
自己株式	△10,723	△10,596
株主資本合計	7,705,357	7,806,381
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	43,106	32,898
土地再評価差額金	△930,964	△930,964
評価・換算差額等合計	△887,858	△898,066
純資産合計	6,817,499	6,908,315
負債純資産合計	10,116,830	10,513,801

(2) 【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	3,747,810	3,209,952
売上原価	1,229,117	991,182
売上総利益	2,518,692	2,218,770
販売費及び一般管理費	2,600,882	2,314,771
営業損失(△)	△82,189	△96,001
営業外収益		
受取利息	1,905	1,663
受取配当金	1,173	966
受取家賃	29,523	25,724
設備賃貸料	9,377	10,028
その他	7,672	6,791
営業外収益合計	49,652	45,174
営業外費用		
支払利息	7,635	10,494
賃貸費用	26,229	22,955
設備賃貸費用	9,362	8,441
その他	2,559	1,827
営業外費用合計	45,786	43,719
経常損失(△)	△78,323	△94,546
特別利益		
固定資産売却益	1,238	—
賃貸契約違約金収入	10,000	—
その他	—	3,010
特別利益合計	11,238	3,010
特別損失		
固定資産除却損	20,918	29
賃貸借契約解約損	4,264	—
前期損益修正損	11,722	—
特別損失合計	36,905	29
税引前四半期純損失(△)	△103,990	△91,565
法人税、住民税及び事業税	9,327	9,332
法人税等調整額	10,489	—
法人税等合計	19,816	9,332
四半期純損失(△)	△123,807	△100,898

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△103,990	△91,565
減価償却費	105,251	75,899
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△9,780	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	4,220
受取利息及び受取配当金	△3,078	△2,629
支払利息	7,635	10,494
有形固定資産除売却損益(△は益)	19,680	29
その他の損益(△は益)	△2,435	△9,320
売上債権の増減額(△は増加)	14,683	24,911
たな卸資産の増減額(△は増加)	△722	△2,620
仕入債務の増減額(△は減少)	△68,436	△48,558
未払消費税等の増減額(△は減少)	31,692	35,206
その他の資産の増減額(△は増加)	△115,518	△74,550
その他の負債の増減額(△は減少)	52,821	△141,058
小計	△72,197	△219,540
利息及び配当金の受取額	1,360	1,132
その他の収入	55,778	42,281
利息の支払額	△5,373	△6,831
その他の支出	△56,261	△31,082
法人税等の支払額	△37,180	△37,313
法人税等の還付額	1,044	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△112,834	△251,353
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△132,652	△64,028
有形固定資産の売却による収入	1,238	—
貸付金の回収による収入	406	427
差入保証金の差入による支出	—	△8,554
差入保証金の回収による収入	39,018	15,091
その他の支出	△300	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92,289	△57,064
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△110,000	△135,000
自己株式の取得による支出	—	△126
リース債務の返済による支出	—	△3,611
配当金の支払額	△63	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△110,063	△138,769
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△315,187	△447,188
現金及び現金同等物の期首残高	2,820,944	2,882,443
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,505,757	2,435,255

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 部門別売上高

(単位:千円)

期 間 部 門	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)
ファミリーレストラン フレンドリー	1,171,982	36.5	1,306,535	34.9
産直鮮魚と寿司・炉端 源べい	1,101,506	34.3	1,167,748	31.2
和み料理と味わいの酒 土筆んぼう	479,634	14.9	581,270	15.5
団欒れすとらん ボンズ	422,128	13.2	596,601	15.9
ダイニング・ビュッフェ い〜とみ〜と	21,830	0.7	28,889	0.8
しゃぶしゃぶ・鍋 季節の和膳 竹〇屋	12,870	0.4	46,356	1.2
ギンガムキッチン	—	—	20,408	0.5
合計	3,209,952	100.0	3,747,810	100.0

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

該当事項はありません。